

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	喜連川地区観光商業施設利用促進事業			事業開始年度	平成27年度		
担当課	産業経済部 商工観光課		担当者	井上拓俊			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業						
事業の目的	歴史的建造物である当該施設を維持管理し、道の駅やお丸山公園などを含んだ周遊ルートを作成。喜連川市街地の活性化を図る。						
事業の概要	喜連川地区観光商業施設の整備及び管理						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	2,854	2,758	3,695			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度実績	4年度実績	5年度計画	6年度計画
	成果	来館者数	人	176	821	2,100	2,100
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型コロナウイルスの影響により中止となっていた喜連川公方ひな祭りを開催することができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	さくら市観光県外PR事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	産業経済部 商工観光課			担当者	大東由枝		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	01	シティプロモーションの推進				
事業の目的	各種イベントやマスコミへの露出を増やすことにより、市へ訪れる観光客を増加させる。						
事業の概要	県外で実施される観光キャンペーン等に参加し、PR活動を実施することで、観光客の誘客を図る。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度		4年度		5年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	989		11,288		2,630	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度実績	4年度実績	5年度計画	6年度計画
	成果	マスコミへの露出件数	件	62	47	60	60
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染症の影響により、県外におけるPR活動等があまり実施できなかったものの、アフターコロナにおける誘客のため、ガイドブック（るるぶ）の改訂を行った。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小			業務量	●拡大 ○現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	喜連川温泉利用促進事業			事業開始年度	平成25年度		
担当課	産業経済部 商工観光課		担当者	大東由枝			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	01	シティプロモーションの推進				
事業の目的	喜連川温泉が多くの人に認知され、より多くの人を訪れる。						
事業の概要	喜連川温泉のPR用物品などを用い、利用促進を図る。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度		4年度		5年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	10,925		432		774	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度 実績	4年度 実績	5年度 計画	6年度 計画
	成果	市営温泉客数	人	337,383	304,300	350,000	350,000
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染症の影響による施設の利用制限は緩和されたものの、道の駅本館火災及び2号源泉の電気設備及びポンプ故障、浚渫工事のため、市営温泉施設2カ所が長期休業となり、目標を下回った。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	シティプロモーション事業			事業開始年度	平成27年度		
担当課	総合政策部 総合政策課			担当者	池田真規		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	01	シティプロモーションの推進				
事業の目的	市の魅力を市内外に発信する為の事業を実施し、交流・定住人口の増加を目指す						
事業の概要	さくら市シティプロモーション戦略（～2022年度）に基づき、効果的な事業を実施し、交流人口、定住人口の増加を目指す						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度		4年度		5年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	7,197		11,017		13,849	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度実績	4年度実績	5年度計画	6年度計画
	成果	年間観光客入込数	人	1,315,739	1,433,176	1,655,000	1,877,000
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型コロナウイルスの影響を受け、交流人口を計画通り増やすことはできなかった。但し、新聞掲載、SNSの積極的な発信、森のタンブラーの周知などで、さくら市の知名度の向上事業は実施でき、その部分の目標達成はできた。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小			業務量	○拡大 ●現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	地域支援パートナー事業			事業開始年度	平成25年度		
担当課	産業経済部 商工観光課		担当者	大東由枝			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	01	シティプロモーションの推進				
事業の目的	市の活性化（健康づくりや青少年育成等）やPRに繋がる						
事業の概要	栃木SCのホームゲームの際、ゴール横にさくら市のPR看板を設置、アナウンス及び栃木SCの広報ポスター・WEBサイト等においてさくら市の情報を掲載する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	4,300	4,300	0			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度実績	4年度実績	5年度計画	6年度計画
	成果	さくら市民デー時の参加人数	人	3,797	5,104	6,000	6,000
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	市民デーにおいては目標値を多少下回ったものの、観光PRを効果的に実施することができた。また、新型コロナウイルス感染症の影響により中止していたサッカー教室や各小学校訪問は予定通り実施できた。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	さくら市魅力等発信事業			事業開始年度	平成22年度		
担当課	産業経済部 商工観光課		担当者	井上拓俊			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	01	シティプロモーションの推進				
事業の目的	さくら市の魅力を伝える。						
事業の概要	〇エフエム栃木と業務委託契約締結 ・さくら市の情報をFM栃木にて発信する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度		4年度		5年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	1,650		1,650		1,650	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度実績	4年度実績	5年度計画	6年度計画
	成果	番組の年間平均聴取率	%	-	-	-	-
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	コロナ禍で影響の大きい市内飲食店を紹介する番組「さくらFM」を放送し市内26店舗の飲食店のPRを行うことができた。 ※4月～9月（毎週水11：40～11：55）					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	商工まつり支援事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	産業経済部 商工観光課		担当者	大東由枝			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	02	観光資源の充実と創出				
事業の目的	商店街の活性化及び市民による活気あるまちづくりを図ることを目的に開催する商工まつりへの援助を行う。						
事業の概要	氏家商工会及び喜連川商工会への事業費の補助を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度		4年度		5年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		2,385		5,500	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度実績	4年度実績	5年度計画	6年度計画
	成果	商工まつり参加者数	人	0	35,000	50,000	50,000
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、喜連川商工さくらまつりが中止となった。氏家商工まつりは、コロナ禍のため規模を縮小して実施し、商店街及び街なかの活性化を取り戻す一助となった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	暮市・花市開催事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	産業経済部 商工観光課		担当者	大東由枝			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	02	観光資源の充実と創出				
事業の目的	伝統行事が継承され、市街地ににぎわいを創出する。						
事業の概要	暮市・花市実行委員会への補助金。毎年、暮市、花市を各1回開催。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	0	94	330			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度 実績	4年度 実績	5年度 計画	6年度 計画
	成果	暮市・花市開催回数	回	0	2	2	2
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	コロナ禍にあったため、感染症対策に留意しながらの実施であったが、市街地に賑わいを取り戻すことができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	各種イベント開催事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	産業経済部 商工観光課		担当者	大東由枝			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	02	観光資源の充実と創出				
事業の目的	イベントを開催することにより観光客等が増加し、市内への交流人口の増加を図る。						
事業の概要	各種イベント開催・参加に伴う消耗品購入・PRチラシ作成・広告業務等の委託。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度		4年度		5年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	2,351		3,204		4,883	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度 実績	4年度 実績	5年度 計画	6年度 計画
	成果	観光客入込数（暦年）	人	1,352,953	1,433,176	1,655,000	1,877,000
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったイベントが多かったが、感染症対策を講じながら実施したイベントもあり、観光客入込数は令和3年度と比較して微増となった。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	フットゴルフによる地域魅力向上事業			事業開始年度	令和 2年度		
担当課	総合政策部 総合政策課			担当者	高橋 岳陽		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	02	観光資源の充実と創出				
事業の目的	ニュースポーツであるフットゴルフを活用し、さくら市を「フットゴルフの聖地」とし県内外からプレーヤーが訪れ地域活性化に繋がる仕組みを構築することを目的とする。						
事業の概要	フットゴルフタウン推進委員会を中心に各種大会の開催、フットゴルフの普及啓発、フットゴルフワークショップの活用など様々な事業を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度		4年度		5年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	3,000		1,500		2,000	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度実績	4年度実績	5年度計画	6年度計画
	成果	フットゴルフイベント数	回	9	15	15	15
	成果	フットゴルフイベント参加者数	人	458	750	800	1000
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	イベント数、参加者数も順調に増加していることから、今後もこの状態を維持するよう年間活動を継続する					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小			業務量	●拡大 ○現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	駅前交流拠点施設維持管理事業			事業開始年度	平成30年度		
担当課	産業経済部 商工観光課		担当者	大東由枝			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	02	観光資源の充実と創出				
事業の目的	さくら市の玄関口である氏家駅前に設置された交流拠点を適正に維持管理し、市のPRを促進する。						
事業の概要	さくら市の魅力を発信するため整備した駅前交流拠点「さくらテラス」の管理運営業務。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	6,160	5,512	10,234			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度 実績	4年度 実績	5年度 計画	6年度 計画
	成果	施設利用者数	人	16,269	53,078	55,000	30,000
	成果	観光客入込数	人	1,352,953	1,433,176	1,655,000	1,877,000
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながらの企画展を実施であったが、施設利用者数は目標値を大幅に上回った。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	総合交流ターミナル施設維持管理事業			事業開始年度	平成15年度		
担当課	産業経済部 商工観光課		担当者	大東由枝			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	03	観光の施設・基盤の整備と管理				
事業の目的	さくら市の情報発信の拠点施設として市の特産品や魅力情報を多くの来場者に発信する。						
事業の概要	(株)道の駅きつれがわを指定管理者と位置付け、道の駅きつれがわ総合交流ターミナル施設の維持管理を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	145,524	274,272	138,965			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度実績	4年度実績	5年度計画	6年度計画
	成果	施設修繕発生件数	件	19	24	10	10
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	本館火災（出火原因不明）の影響により、温泉施設が6月20日から10月27日までの130日間、テナントが1月27日までの222日間休業となり、施設利用者に多大なる悪影響を及ぼした。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	温泉施設維持管理事業			事業開始年度	昭和57年度		
担当課	産業経済部 商工観光課			担当者	大東由枝		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	03	観光の施設・基盤の整備と管理				
事業の目的	温泉利用者に喜んでもらえる施設管理を、限られた経費の中で効率よく行い、市民にも、市外の利用者にも親しまれる温泉施設の運営を行う。						
事業の概要	市営温泉施設「もとゆ」「露天風呂」の管理運営全般及び観光温泉バスの運行について、（一財）さくら市観光施設管理協会を指定管理者として委託。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度		4年度		5年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	101,465		49,663		53,546	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度 実績	4年度 実績	5年度 計画	6年度 計画
	成果	温泉施設年間利用者数	人	215,456	209,523	230,000	245,000
	成果	指定管理料	千円	26,300	35,970	34,270	23,720
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染症の影響による営業時間の短縮に加え、2号源泉浚渫工事の影響により第2温泉浴場を7/23～3/17の232日間を休業としたため、温泉施設利用者数は目標値に達しなかった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小			業務量	○拡大 ●現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	温泉源泉維持管理事業			事業開始年度	昭和56年度		
担当課	産業経済部 商工観光課		担当者	大東由枝			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	03	観光の施設・基盤の整備と管理				
事業の目的	温泉源泉を常に稼働させ、各施設に温泉をスムーズに供給する。						
事業の概要	安定的に各施設に温泉を供給するため、温泉源泉供給関連施設の維持管理を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度		4年度		5年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	17,344		103,714		42,924	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度実績	4年度実績	5年度計画	6年度計画
	活動	市で現に管理する源泉の数	眼、温水の源泉、井戸の数	3	3	3	3
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	浚渫工事等を実施し、スムーズな温泉供給ができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	観光協会振興事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	産業経済部 商工観光課		担当者	大東由枝			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	04	くらしを支える強固な経済基盤				
	施策	03	地域資源を活かした観光の振興				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	市のイメージアップを図り、年間を通して観光客を誘客し、地域の活性化を促すことを目的に活動する観光協会の活動を支援する。						
事業の概要	観光客の誘客や地域経済活性化のため市観光協会へ補助金を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	3年度	4年度	5年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	21,696	23,732	35,803			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	3年度実績	4年度実績	5年度計画	6年度計画
	活動	マスコミ露出件数	件	15	6	20	20
	活動	観光協会主催事業数	件	7	16	20	20
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染症の影響で、各種主催事業が中止となり、マスコミ露出件数が大幅に減少した。また、一部代替事業を実施したものの、観光協会主催事業数も減少した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		